

令和元年 6 月 3 日

## 多治見高校トピックス 多治魂セミナーNo.6 ～米田感人さん(TRI-AD、エンジニア)～

第六回の多治魂セミナーは令和元年 5 月 17 日に開催し、米田感人さん (TRI-AD, <https://www.tri-ad.global/jp/home>) にお越しいただきました。今回のセミナーは、ヤマカまなびパークで行い、多治見高校生 37 名、多治見北高校生 15 名が参加してくれ、超満員でした。



今回のセミナーは、「自動運転技術開発(情報系)の最前線で活躍する人の話を聞く!!」というテーマでお話ししていただきました。会の前半では、TRI-AD ではどのような自動運転技術を目指しているのか、またそのためにどのような技術開発をしているのか、米田さんが関わっている画像認識 AI をベースに仕事の一部を紹介していただきました。「国際的なチームで自動運転の開発する」ことがどういう感じなのか、リアルな雰囲気を感じるお話をしていただきました。

後半部分では、米田さんが学んできた分野、現在の興味についてお話ししていただきました。米田さんは大学では物理学を、大学院では認知科学と工学、社会に出てからは人工知能と情報学、と様々な学問分野を学ばれ、学生時代の興味が今の仕事にどのようなにつながっているのか、お話ししていただきました。

### <参加生徒感想>

・「人工知能」は本当に幅広い技術を指すものだと初めて知りました。また、人工知能は遠い存在だと思っていたけれど、私たちの生活に割と近いものだと感じました。今日は IT に関わる仕事のリアルな話が聞け、もっと米田さんのお話を聞きたいと思ったし、本当に視野が広がりました。自分も英語を頑張ろうと思いました。今回のセミナーは本当に来てよかったです。将来についての考えが少し固まった気がしました。

・世間では高齢者ドライバーによる事故や、あおり運転が話題になっているけれど、実際に完全自動運転が可能になったらそういったものがなくなり、良い社会になると思いました。まだ日本では使われていないだけで、自動運転が可能になっていることにも驚きました。今まで行きたい大学も就きたい会社も何もなかったけれど、初めてこのようなセミナーに参加して、働きたいと思えました。

・情報工学と一言で言っても様々な分野があってとても深い分野だなと思いました。また、技術に国境はなく、様々な国の人と一緒に仕事をするので英語は必須だとわかりました。自動運転の話は夢があるし、おもしろかったです。米田さんが、今、仕事でたくさん英語を使っているのに高校時代に英語が苦手だったことは驚きました。学部生の頃には純粋な物理学、大学院から工学の道に進んでいて、進路はそこまで定まらないこともあるとわかりました。私は工学系に進みたいので、数学と物理、英語を頑張ります。

・ディープラーニングなどの革新的な技術で自動車の自動運転技術が向上した話や、大学での物理学の話など幅広い話を聞いてとても興奮しました。大学でどんな学部に進むか迷っていたけれど、物理にしようかなと思いました。将来は楽しいことができればいいなと思っていたので、面白いことをどんどん勉強しようと思いました。人工知能は身近になってきたけれど、どうやってできているかは知らなかったので、難しい話もあったけれど、知ることができて良かったです。



たじこん

**多治魂セミナーとは…**多治見高校では、生徒の皆さんに学ぶ面白さを体感してもらうために、大学などの

研究機関や企業で「熱い思い」をもって活躍されている方を招いて講演会をしていただいています。このセミナーは、多治見高校生以外にも近隣の学校からも参加でき、また、質疑応答の時間を長めに取って、講演者と生徒の皆さんが対話・議論する時間がたっぷりある点が特徴です。今回の多治魂セミナーは申し込み開始後すぐに定員を超えたため、早めに募集を締め切りました。次回からはより大きな会場で開催するので奮って参加してください。

担当：佐賀達矢